

本で伝える主の愛

堂会長イ・ジェロク牧師はいのちのみことばを本にして、多様な言語に翻訳、発刊し、全世界の人々に喜びを与えている。

[霊の愛シリーズ14] 愛はすべてを耐え忍びます

霊の愛を心に耕すためには、すべての訓練を信仰と希望をもって忍耐し、どんな状況でもただ善だけを行わなければならない。

律法の根本精神

律法学者とパリサイ人は律法を徹底して守ったが、イエス様に責められた。その理由を「正義とあわれみと誠実」という聖句から調べてみる。支教会11月スケジュール

神様を体験しながら生きていく聖霊時代
コンゴ民主共和国のアダルベール宣教師が伝える宣教便りと、神様のふところに帰ってきてまことの幸せを得たソ・テメン兄弟の証し。

万民ニュース

第132号 2013. 10. 27.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7042

www.manmin.org

変化といのちを生むイ・ジェロク牧師の多国語信仰書

インドのオリヤー語などを含む57言語で発刊



に与えられるのか詳しく記されています。また、神の力の光が一段階から四段階まで違うということも知ることができます」と言いながら驚きを述べた。

紙の本だけでなく電子図書も欠くことができない。2007年12月から現在まで、45言語で260種が発刊されて、インターネット大韓教育保険文庫、リディブックス、iBooksストア、Amazon.com等を通して着実に流通されている。

このようにイ・ジェロク牧師の信仰書に対して全世界の読者が関心と愛を示すのは、霊的な渇きを解消してくれるユニークで差別化されたコンテンツを提供しているからだ。特にクリスチャンさえも漠然としか知らない天国、地獄の実態と神の力あるわざについて確実に明快なメッセージを伝え、聖書の難解聖句を明快に解き明かしている。

何よりイ・ジェロク牧師の著書全般には神の愛と摂理が込められていて、世界1万余の支・協力教会の聖徒だけでなく、数多くの読者の信仰を強めている。

インドのサンティラ姉妹は「『天国』を読んで、天国の生活はうっとりするほどすばらしくて、天国は想像以上の所だとわかりました。天国について知りたいなら、必ずこの本を読むべきです。また『信仰の量り』でイ・ジェロク先生はクリスチャンに「信仰」について明らかに説明しています。信仰の量りに応じて、ひとりひとり違う天国の場所が与えられるということを説明しています。自分の信仰をチェックして、もっと大きい信仰を持ちたいなら、必ず読んでみてください」と述べた。



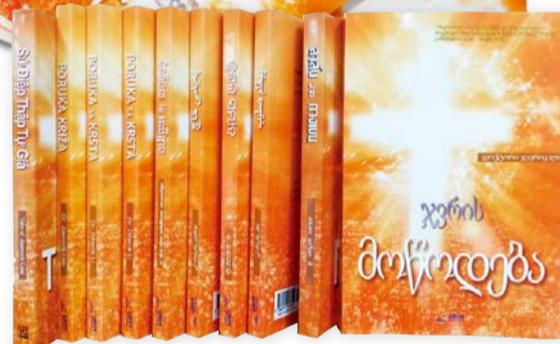
2013年8月、ドイツのホルネリウス出版社から堂会長イ・ジェロク牧師の著書『天国』(下)を発刊し、去年発刊した『天国』(上)に続き好評を得ている。

ラインハルト・ホルネリウス代表は「天国の美しさを詳しく描写したこの本はドイツのクリスチャンにどうしても必要なので、発刊を決定しました」と語った。ホルネリウス出版社はドイツの宗教改革家マルティン・ルターの出生地として有名なドイツ中東部、ザクセン・アンハルト州にある著名なキリスト教出版社だ。

このようにイ・ジェロク牧師の多国語信仰書は世界のあちこちで一貫して人気を博している。最近の出版界の不況の中でも、イ・ジェロク牧師の代表的著書『十字架のこぼれ』は稀少言語でも発刊されて注目され、辺境地宣教にも大きい役割を果たしている。

すでに国連指定6大公用語である英語、中国語、ロシア語、スペイン語、フランス語、アラビア語はもちろん、ヘブライ語などで発刊され、今年だけでもイランのペルシャ語、インドのオリヤー語、ベトナム語、セルビア語、ボスニア語など17言語が追加されて、計54言語で発刊された。

これまでに説教集、放送説教集、講解集、聖徒の証し集、コラム集、信仰エッセー、聖



左からベトナム語、クロアチア語、セルビア語、ボスニア語、カンボジア語、クルド語、オリヤー語、ペルシャ語、タイ語、グルジア語の『十字架のこぼれ』

イエス・キリストが私たちの救い主である四つの条件について伝えているイ・ジェロク牧師の『十字架のこぼれ』は54言語で発刊され、海外に流通されている。

書の学びと教材、児童・中高生教材など88種の韓国語著書を発刊し、57言語で280種の多国語著書が発刊された。

また、台湾の著名なキリスト教出版社である天恩出版社、マレーシア・マンミン出版社を

中心に発刊された中国語版は中国、台湾、マレーシア、シンガポール、香港などの華僑圏に流通されて大好評である。マレーシアのチャン・チョミン聖徒は「『神の力』には、神様ははたしてどんなお方で、神の力はどんな人

子ども教材 ジュニア Bible Study 3 『天の門をひらくパワー祈り』発刊

勉強がよくできないとき、
友だちとけんかして
いらいらしているとき
困ったことが起きたとき

すべての問題を一回で解決できる
万能の鍵があるなら、
どんなにいいでしょうか？



わたしを呼べ。そうすれば、わたしは、あなたに答え、
あなたの知らない、理解を越えた大いなる事を、あなたに告げよう。(エレミヤ33:3)



学校へ行く前の子どものためのクイズ Bible Study 2 『わたしはイエスさまみたいな祈りの隊長』

愛はすべてを耐え忍びます



堂会長イ・ジェロク牧師

「愛は寛容であり、……
すべてをがまんし、
すべてを信じ、
すべてを期待し、
すべてを耐え忍びます。」
(第一コリント13:4-7)

第一コリント13章に記されている霊の愛の属性の中には「すべてをがまんし、すべてを信じ、すべてを期待し、すべてを耐え忍びます。」という項目があります。

ここで「すべてをがまんする」とは、愛と反対になるすべてをがまんすることであり、「すべてを信じる」とは、どんな人であってもすべてを信頼して信じてあげることです。「すべてを期待する」とは、信じていることが実際に現れる時まで、望んで待つことです。

このように、私たちがすべてを信仰によって希望をもって期待するので、すべてをがまんすることができるし、すべてをがまんするので、またすべてを耐え忍べるのです。それでは、霊の愛の属性の中で「すべてを耐え忍びます」という項目に含まれた霊的な意味は何であり、どうしたら霊の愛を完全に持てるでしょうか？

1. すべてを耐え忍ぶとは？

霊の愛と反対になるすべてをがまんするのなら、それに伴う余波が来るものです。大きい波が行ってしまえばその後にはさざ波が立

つように、すべてをがまんする時にも、がまんすることで終わらないで試練がやって来たり、心に苦しみが伴ったりもします。

マタイの福音書5章39節に「悪い者に手向かってはいけません。あなたの右の頬を打つような者には、左の頬も向けなさい。」とあります。それで、相手が頬を打っても悪をもって対抗しないで、黙ってがまんします。しかし、それに伴う心の痛みはついて来ることでもあります。

この時、ひとりひとり心が痛い理由も違います。打たれて悔しいとつらくなる人がいるかと思えば、相手を怒らせたことが心苦しくて、心を痛める人もいます。怒りを抑えられなくてそのまま表に出してしまう兄弟を見ると、もどかしくて心が痛むこともあるでしょう。

それだけでなく、がまんすることの余波は外の環境から来ることもあります。たとえば、相手が右の頬を打ったとき、がまんして左の頬を向けたのに、容赦なく左の頬まで打つとしましょう。みことばのとおりに従ってがまんしたのに、状況がもっと悪くなったように見えるのです。神様のみこころのとおり愛と反対になることをがまんしたので、直ちに試練が退くはずのようなのに、こんな試練が伴う理由は何でしょうか？ これは愛なる神様が私たちを完全にして、祝福してくださるためです。

私たちががまんして耐え忍ぶ時間を通して、中身がぎっしり詰まった実になるので、このように訓練を通して神様のまことの子どもとして出てくるのが、まさに人間耕作の摂理です。霊の愛を完全に心に耕す前は、悪を行う人を見るとき、うわべではがまんしますが、心には相変わらず「会いたくない。理解できない」という感情が起きます。これを知っている敵である悪魔・サタンが訴えれば、訓練が伴うようになります。

心に悪がないと認められるまでは、大きくても小さくても訓練というテストがあるものです。もちろん、悪が全くないとしても、訓練がやって来ることがあります。これは祝福を下さるためです。心に悪がない次元で終わるのではなく、より大きい愛、全き善へと導かれるためなのです。

個人的な祝福を下さる時だけでなく、神の国を建て上げる時にも、このような原理が適用されます。神様が大きいなるみわざを施されるためには、それだけ公義が満たされなければなりません。大きい信仰と愛の行いをもって答えられるような器であることを証明してこそ、敵である悪魔・サタンが訴えられ

ないのです。このような理由で、神様は時々試練の風雨に耐えるようにされます。この時、ただ善と愛をもって忍耐すれば、結局、勝利して栄光を帰すようになるのです。

2. すべてをがまんして信じ、期待して耐え忍ぶためには

私たちが神様を愛するがゆえに、真理にあつてすべてをがまんして信じて期待すれば、どんな訓練でも十分に耐え忍ぶことができます。それでは、具体的にどのようにすべてを信じて、期待して、耐え忍ばなければならないのでしょうか？

1) 訓練の中においても、神様の愛を堅く信じなければなりません

神様は、私たちがこの地上の人生が終わる日、称賛と光栄と栄誉を得られる資格を備えるように、訓練を受けることを許されます(第一ペテロ1:7)。世と妥協しないでみことばどおり生きていくと、何のわけもなく苦しみを受ける時があります。そんなとき「私は神様に特別に愛されているんだ」と信じなければなりません。するとすべてが感謝の条件になります。よりすばらしい天国に導くためにお与えになった訓練なのですから、どれほど感謝でしょうか。

ところが、訓練期間が長くなれば「神様は本当に私を愛しておられるのだろうか」という気がすることもあります。そんな時ほど神様の愛を信じて、忍耐しなければなりません。神様が私を愛しておられるので、よりすばらしい天国に導かれるのだという事実を信じなければならぬのです。このように神様の愛を信じて、最後まで忍耐すれば、結局、完全な者に変えられる祝福をいただくのです(ヤコブ1:4)。

2) 練られた品性が希望を生み出す近道であることを信じなければなりません

ローマ人への手紙5章3-4節に「そればかりではなく、患難さえも喜んでいきます。それは、患難が忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと知っているからです。」とあり、忍耐を通して練られた品性は希望を生み出す近道です。時には、自分を見るとき、「いつ変えられるのだろうか」と思うこともあるでしょうが、磨かれたあけく輝く宝石になるように、忍耐して練りに練られるなら、結局、神様に似せられた完全な子どもになるのです。

したがって、忍耐が練られた品性を生み出すまで、不断の努力をしなければなりません。もちろんやさしい道に行きたいのが人の心ですが、練られる道を選ばなければ、それだけ遅くなるのです。周りにことごとくにけちをつける人がいるとき、いやな顔はしないけれど、心が穏やかでなくなります。この時も避けることが上策でなく、忍耐して相手を本当に理解して赦す、積極的な心が必要です。その時、神様が恵みを与えて、変えられるように導いてくださいます。このように一つ一つの状況に忍耐して練られた品性を生み出すと、結局、希望を生み出す飛び石になり、近道になるのです。

3) すべてを耐え忍ぶためには、ただ善だけを行わなければなりません

ふつう試練や患難は人や環境によってやって来るように見えますが、霊的にはそうではありません。すべての信仰の試練は敵である悪魔・サタンがもたらすものです。つまり、試練や患難は善と悪との戦いなのです。ですから、霊的な戦いで勝利するには、結局、善が勝利するという霊の世界の法則に従って戦わなければなりません。善を行えば、当座は負けるようだし、損をするように見える時もあります。しかし、「悪に負けてはいけません。かえって、善をもって悪に打ち勝ちなさい。」(ローマ12:21)とあり、善を行えば、神様は正しいお方なので、善が勝つかありません。

ひょっとして傍若無人でどうも理解できない人がいるのでしょうか？ そんな人にはさらに心から善を行ってみますように。心にまことの愛を耕せば、耐え難い人がいなくなります。「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ」(マタイ22:39)とあり、相手を自分自身のように愛するので、すべてを理解していただくようになります。

愛する聖徒の皆さん、真珠貝は砂粒、海藻などの異物が入ってくれば、かえってそれで真珠を作り出します。このように愛するがゆえにがまんする時にやって来る痛みを、信仰と希望をもってよく耐え忍んで「霊の愛」という真珠を作るようにお願いします。それで、この美しい真珠を作るまで、私たちが期待の目で見てくださった父なる神様に「すべてをがまんして信じ、期待して耐え忍んでくださって感謝いたします」という感動の告白がささげられますように、主の御名によって祈ります。



Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7042, 7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: ksy7042@hotmail.com



Global Christian Network

Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcntv.org
e-mail: webmaster@gcntv.org



World Christian Doctors Network

Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民 ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・ゲンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒152-848 韓国ソウル市クロク区ク3ドン235-3
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048

「正義とあわれみと誠実」とは何か 知りたいです

Q マタイの福音書23章23節で、イエス様が「わざわざ。偽善の律法学者、パリサイ人。おまえたちは、はっか、いのんど、クミンなどの十分の一を納めているが、律法の中ではるかに重要なもの、正義とあわれみと誠実を、おろそかにしているのです。これこそしなければならぬことです。ただし、十分の一もおろそかにしてはいけません。」と厳しく責められました。十分の一献金をささげて律法を守っていた彼らに、なぜ「正義とあわれみと誠実」をおろそかにしたと責められたのでしょうか？ 律法の中ではるかに重要な「正義とあわれみと誠実」とは何か知りたいです。

A イエス様の当時、律法学者とパリサイ人は旧約聖書に記されたモーセの律法はもちろん、先祖代々伝えられた長老たちの言い伝えまで徹底して守っていると思われました。律法を研究して民に教えたりもしましたが、小さいハーブの葉と幹にまで十分の一献金を適用させました。また、彼らは神様を愛して律法を守るよりは、律法をちゃんと守る人であることを誇示しようと、うわべだけで行いました。このように律法を研究して、文字そのままに徹底して守ろうとしましたが、それよりはるかに重要な律法の根本精神、すなわち正義もあわれみも誠実もおろそかにしていたのです。

マタイの福音書23章を読めば、イエス様は偽善の律法学者とパリサイ人に向かって、七度も厳しく責められます。彼らの心の中に隠された貪欲と放蕩、不法を赤裸々に指摘されて、彼らを目の見えない人、目の見えぬ手引きども、蛇ども、まむしのすえども、あるいは白く塗った墓にたとえておられます。神様のお心で厳しく叱って、悔い改めを促されたことが見られます。しかし、彼らは律法を下さった神様のお心を全然知らなかったので、「正義とあわれみと誠実」をおろそかにしたまま最後まで悔い改めないで、イエス様に立ち向かって、結局、滅びの道に行ってしまいました。

正義「正しいことを追い求める心」

世には法、道徳や社会規範など、正しい行いと正しくない行いを分ける基準があります。世の人々は世の基準に従うものです。けれど、神の子どもたちは神の法、公義という定規に照らして、正しいほうに従います。世の基準が神様の基準には合わないことも多いからです。

律法学者とパリサイ人は、律法という基準に照らしてみると、うわべではまことに正しく見えました。行為としては神様の戒めを徹頭徹尾守りましたが、心の中では「どうすれば人に認められて尊敬されながら実利を取ろうか」と思い巡らしていました。彼らは人の前で正しく見えることだけに汲々としていました。つまり、心には不義がいっぱいで、断食する時は人に知らせようと顔をやつしました。見かけではいつもみことばを読んで祈り、断食しているようでした。しかし、いざというとき正しいことを追い求める心、すなわち、正義はなかったのです。

神様の前で正義を行う人は、状況や都合にかかわらず、行いが終始一貫しています。人が見えてもいなくても、自分が高い地位にいてもそうでなくても、益になっても害になっても、みことばに照らして正しいことを追い求めます。いつも人でなく神様を意識して生きているので、すべてのことにおいて正しい心で行い、神様に喜ばれるのです。

あわれみ「愛と徳」

ヨハネの福音書8章を読むと、律法学者とパリサイ人が姦淫した女をイエス様の前につれて来て訴えます。「先生。この女は姦淫の現場でつかまえられたのです。モーセは律法の中で、こういう女を石打ちにするように命じています。ところで、あなたは何と言われますか。」と言いました。

姦淫した女を石打ちにすることは旧約の律法で正当な行為でした。ところが、彼らはイエス様を試そうとするずる賢い心と人を罪に定める心があるだけでした。罪人に向けられた神様のあわれみと慈しみの心は全くなかったのです。

イエス様は律法学者とパリサイ人に愛と徳がないことを嘆かれました。神様は何としてでもひとりでも多くの魂を救って、いのちを与えることを願っておられます。心に神様の愛が少しでもあるならば、そんな人々もあわれんで、もどかしく思うでしょう。ヤコブの手紙2章13節後半節に「あわれみは、さばきに向かって勝ち誇るのです。」とあります。律法によれば罪人は必ず殺さなければなりません。ところが、神様はひとり子イエス様をなだめの供え物とされて、全人類の罪を赦してくださいました。公義を超えたあわれみと愛を施されたのです。

心に「あわれみ」が完全に耕されれば、神様の戒めを守っても、隣人に善だけ行うようになります。合わせて、日常のすべての中で人としての道を踏み行い、愛と徳を施してキリストの香りを発するようになります。

誠実「神に対する信仰」

ヘブル人への手紙11章6節に「信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならぬのです。」とあります。神様の戒めを守ることに、まずは必ず神様が生きておられることを信じなければなりません。また、戒めを守って生きる時、報いてくださることを信じなければなりません。

律法学者とパリサイ人は神様を信じると言いましたが、まことに信じたとは言えません。彼らは戒めを守りはしましたが、人に認められるために目隠しだけしました。つまり、自分の正しくない心を一一つ見られる神様を認めなかったのです。神様を心から信じたとすれば、良い行いに報いてくださる神様を信じて、希望をもって行ったでしょう。神様は天国を激しく攻めて行く者に、よりすばらしい天国を与えてくださいます(マタイ11:12)。世のものを断ち切って、みことばを学んで祈るたびに、良いものを与えてくださる神様を仰ぎ見て、また報いてくださる神様を信じて行いますように。すると罪を捨てることも、忠実に仕えることも楽しくできます。さらに美しい天国に自分の家が建てられて、さらに多くの報いが積まれる音が聞こえるからです。このように神様の戒めを信じて楽しく守り行うとき、霊肉ともに祝福はもちろん、不可能のない幸いな生き方ができるのです。

11月支教会スケジュール

11月9日(土)	別府万民教会	権能いやし聖会(講師:加藤勲牧師)	11月27日(水)	松本万民教会	権能いやし聖会(講師:伊藤正明牧師)
11月9日(土)	大阪万民教会	リバイバル癒し聖会(講師:金マルコ牧師)	11月27日(水)	飯田万民教会	権能いやし聖会(講師:柳スズキ牧師)
11月24日(日)	東京万民教会	権能いやし聖会(崔ヒョンラン牧師)	11月30日(土)	名古屋万民教会	癒しの集会(講師:時國みや子牧師)
11月24日(日)	沖縄万民教会	権能いやし聖会(講師:山下好美牧師)	11月30日(土)	舞鶴万民教会	リバイバル癒し聖会(講師:金マルコ牧師)

ぼくの名前には格別な意味があります。聖書の創世記1章1節の最初の文字「初めに」という意味の単語「テッチョエ」の「テ」と、ヨハネの黙示録22章21節の最後の文字「アーメン」の「メン」を取ってつけられた名前「テメン」だからです。

ぼくはクリスチャンの母から生まれましたが、長い間、信仰とはかけ離れた生き方をしていました。高校2年生頃からアダルトものに接したぼくは、大学生になって酒、女、ゲームなど、ますます抜け出せないどん底に落ちていきました。罪に対する報いだったのでしょうか。軍に入隊した2005年から全身に広がったアトピー性皮膚炎は、何と7年間ぼくを苦しめました。また、右膝の軟骨が損傷するけがをした後は、朝起きたら膝の軸が曲がっていたり、雨が降りそうだとずきずき痛んでつらかったです。

虚しい放蕩生活から、たましいを砕いて罪を告白する恵みが臨む

特に2012年7月には不整脈がひどくなって、まるで全力疾走をしている人のように心臓の拍動が速くなりました。こうしては死ぬかもしれないと思いました。一難去ってまた一難、薬を飲みましたが、副作用で全身にじんま疹が出ました。それでステロイド剤を服用して、じんま疹は収まりましたが、そこに前よりもっと深刻なアトピー性皮膚炎が広がったのです。鏡に映ったぼくの姿はまるで化け物でした。

ちょうど当時の指導教師、ギ・ミョンスク伝道師先生が訪問して、夏のキャンプに参加するように勧められ、堂会長イ・ジェロク牧師先生の説教「十字架のことば」を聞いてみなさいと言われました。心が貧しくなっちはじめて世の歌のファイルを削除して「十字架のことば」をMPプレーヤーに入れて聞きました。その時やっと説教が心に届いて、恵みを受けたのです。

2012年8月、夏のキャンプに参加したぼくは、初日の夕方集会の時、教職者会長イ・スジン牧師先生のメッセージを聞いて、どんなに放蕩な生き方を、絶対にしなければならないことをしたのか悟りました。続く

“
帰ってきた放蕩息子、
ぼくの若さを燃やして
主にささげたいです
”



ソ・テメン兄弟(4青年宣教会)

祈禱会の時に、滝のように涙と鼻水が流れて、ずっと神様に「申し訳ありません」とだけ言っていました。

キャンプを終えてすぐ、コンピュータに保存してあったアダルトものとゲームのファイルを削除した後、各種の礼拝に参加して、毎晩あるダニエル徹夜祈禱会で祈り始めました。

あらゆる病気がいやされて神様の愛を体験すると

その後、神様は驚くべき愛を表現してくださいました。一週間、まるで自分のからだに扇風機の風が吹いて熱が出ていくような感じがすると、7年間ぼくを苦しめていたアトピー性皮膚炎がなくなったのです。また、膝の軟骨損傷で絶対にひざまげなかったのですが、それでもひざまげずに祈っていたら、ある瞬間から痛みがなくなりました。一緒に不整脈もなくなりました。ハレルヤ！

今年の前半期にあった「2回連続特別ダニエル徹夜祈禱会」の最終日、ラッキー券抽選では賞をいただいて、神様の愛をもう一度体験しました。またイ・ヒソン牧師先生が伝えてくださった地獄の惨状を聞いて、地獄に行くしかなかったぼくに御手を差し伸べてくださった父なる神様の大きい愛と恵みに、涙で前が見えませんでした。

8月、マンミン夏のキャンプの時は、教会の公式ブログ「m-story」の撮影奉仕をしながら、堂会長先生に近くでお目にかかる機会がよくありました。堂会長先生に祈りを受けていやされた方々が証しをするとき、明るく笑って幸せそうにしておられる姿と、聖徒が主に似せられるように最善を尽くして献身されている濃い愛に、とても恵みを受けました。

誰かがぼくに、30年の人生で一番幸せだった時がいつかと聞いたら、「まことの信仰生活をするようになった去年一年間です」とためらわずに答えるでしょう。今はただ神様の栄光のために生きて、映像製作の才能を生かして、数多くの魂を救えるコンテンツを作りたいと思っています。新しいのちを下さった三位一体の神様にすべての感謝と栄光をお帰しします。

「聖霊の力をいつも体験するようにされて感謝しています」

モンベレ・マリーロ・アダルベール宣教師(コンゴ民主共和国東部地域)

2006年、私はモヒンド・モコパ長老(ケニア・ナイロビ万民聖潔教会)が渡してくれた堂会長イ・ジェロク牧師先生の著書『霊・たましい・肉』(上)を読んで、とても恵みを受けて感動しました。その後、聖潔の福音を慕うようになって、まことのクリスチャンとして新しく生まれた人生を始めました。

2012年1月、私はコンゴ民主共和国の東部地域の宣教師になりました。何よりもアフリカの魂を聖潔の福音で導いてくださる堂会長先生を知るようにして、熱い心で働いておられるチョン・ミョンホ牧師先生(キリスト教アフリカ連合聖潔会総会長)を遣わしてくださった神様に感謝いたします。チョン・

ミョンホ先生が神の力の込められたハンカチ(使徒19:11-12)で祈ってくださいと、見えなかった目が見えるように、歩けなかった人が歩くようになる姿が非常に印象深かったです。

今年5月にはコンゴ民主共和国、東部地域の五つの都市で、チョン・ミョンホ先生が牧会者セミナーを導かれました。牧会者セミナーにはバプテスト教会、聖公会など、教派を超えた総会長や牧師450人が参加しました。「信仰の量り」についての講義を聞いて、涙を流して自分の信仰の段階が低いと告白したりしました。本当に素晴らしいことです。聖霊の力でアフリカを目ざめさせておられる神様にすべての感謝と栄光をお帰しします。

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

- イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>
- 名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市名東区上菅 1-916
T) 052-774-8874
- イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771
- イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

- イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15
T) 072-220-5289
<http://www.osmanmin.com/>
- イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23
T) 0166-53-0652
- イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>
- イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

- イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>
- 岡山万民教会
〒706-0002 岡山県玉野市築港1丁目7-26
T) 0867-72-7276
- イエス・キリスト銚田万民教会
〒311-2102 茨城県銚田市台濁沢1080-6
T) 0291-39-9177
- イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740

- イエス・キリスト京都万民教会
〒611-0001 京都府宇治市六地藏奈良町61-22
T) 0774-27-2779
- イエス・キリスト沼津万民教会
〒410-0802 静岡県沼津市上土町6第一ビル2F
T) 055-952-6861
- イエス・キリスト沖縄万民教会
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号
T) 098-988-9472